第 39 回「中小企業優秀新技術・新製品賞」一般部門応募書類

※本応募書類データ（WORD ファイル）を所定の場所にアップロードして付ください。

ID	※登録完了メールでお知らせしたＩＤ（T26xxxx）
応募企業名	
作品名（30 字以内）	※登録商標マーク（®）は入れないで下さい。

1 ※ 1～20 行まで事務局が使用します。ご記入はしないでください。
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
14
15
16
17
18
19
20

技術・製品の説明

製品名・品番　※新製品の場合は、品番まで記載してください。

「　　」

技術・製品の概要（全体像を簡潔に）　※機能・特徴・価格・用途をコンパクトに説明
※HP等がある場合、応募作品の参考資料を極力掲載し、掲載サイトのアドレスを記載してください

○応募作品（新技術、新製品）の概要・全体像と原理・製法について、要点を記載して下さい。

原理・製法（ポイントのみ）

※応募資料の情報取り扱いについて:提出いただいた資料は審査にのみ使用し、公知の情報を除き、応募者の了解なく第三者に開示することはありません。
※すべての項目について、枠内に収まるよう記入して下さい。（内容が不明な簡略記入の項目がある場合は審査対象外となることがあります）
※応募書類（4ページ）のみで審査しますので、必要なデータを簡潔に記入願います。
※書式の大幅な変更、記入例を除くプレ印字の変更・削除及びページ数の変更はしないでください。

技術・製品の優位性

機能、性能、品質の説明（水準が高いと思われる点や、従来のものと比べた優位性等）
※独創性・優秀性について、具体的に性能等のデータを提示して説明してください。

○応募作品（新技術、新製品）の優秀性・独創性について説明して下さい。
・「機能、性能、品質の説明」欄では、機能・性能・品質の側面から、優秀性・独創性を数値等を用いて具体的に記述して下さい。
〔例〕　・従来製品に比べ、×××を○%削減
　　・×××した際の△△が従来製品の○倍
・「競合製品との比較」欄では競合製品との性能や価格の比較の側面から、優秀性・独創性を説明して下さい。
→比較する対象は、応募作品の買い手・利用者の立場からみて比較・選択する可能性ある技術・製品で、ライバルとして意識している直接的な競合製品があれば含めます。直接的な競合製品がない場合は、代替品と比較して下さい。

競合製品との比較　①競合製品名・企業名、②競合製品と応募製品の性能・価格等の比較

環境への配慮の説明（具体的にデータを提示して説明してください）

（例）消費電力も少なく、低コスト。鉛は一切使用せず、排出物質にも有害なものはありません。

安全性、信頼性、PL法への対処の説明

（例）安全機構を備えています。動作異常時には電気系を含めて停止機構を組み込んでいます。

主な用途および実績

用途・市場性（市場規模、市場占有率、業界環境等）、**経済性**（投資の採算性や回収期間等）
※極力詳細に記入してください

○応募作品（新技術、新製品）の市場性について説明して下さい。
・どのような市場のどのような用途に利用されるか
・その市場の規模と業界環境、市場での占有率
・投資の採算性や回収期間等

主な実績（具体的な改良・改善点と時期、納入先、市場占有率、ユーザーの評価等を記載）
※販売開始時期の根拠（ニュースリリース、発表会等）を記載してください。
※販売開始直後等で、今後の販売見込みを記載する場合は、その根拠も明記してください。

・販売・納入の実績（例：2025 年○月○○社に○台を○百万円で納入）、販売開始時期の根拠（例：2025 年○月○○展示会に出展し販売開始）
・公的認証や本賞以外の受賞歴等

公的認定や他機関での受賞等（新連携 等）（時期も記入）

注：医薬品・医療機器等の承認については、４頁目「特許の名称および番号」欄に記載してください。

開発関係	**開発意図**（目的、動機、狙い）
	開発の経緯（大幅な改良・改善は必ず記載） ※改良、改善の場合、当初の発売日、改良製品の発売日　等を明記
	開発目標に対する達成度（自己評価）
	①開発に当たり苦労した点、実現が困難であった点 **②どのような工夫で克服したか**

機能、反応などを達成するための動作・反応過程の説明

（1）構造図、反応図、ブロック図など（主要部位の名称は必ず記入）

○応募作品（新技術、新製品）の仕組み、構造、機能・反応とその過程等について説明して下さい。
・構造図、反応図、ブロック図等
・動作・反応過程については、順を追って箇条書きで説明して下さい。

（2）動作・反応過程（上記図にもとづき、動作・反応の過程を順を追って箇条書きで説明）

①

②

③

※個人情報の利用目的

応募者にかかる個人情報は、りそな中小企業振興財団が行う事業（新技術・新製品表彰事業、技術移転事業、人材育成事業および調査・研究・情報提供事業）のご案内およびその改善を目的に利用させていただく場合があります。

日刊工業新聞社では、各種商品・サービスのご案内およびその改善を目的に個人情報を利用させていただく場合があります。

共同開発（提携先とその具体的な役割及び寄与度(%)）　**提携先寄与度　%**

提携先寄与度＋自社の役割＝100%

※審査上不利益になりませんので正確に記入してください（特に公的機関）。**事前に、**共同開発者・権利関係者から**承諾を得て下さい。**

特許の名称および番号（健康・医療関連は厚生労働大臣の承認番号）

医薬品・医療機器等の承認については、本欄に記載してください。

※申請中の場合、その旨明記ください

※ブラックボックス方針の場合は、その旨記入ください。審査に必要な基本的な原理や実証データが記載されていないと評価できない場合があります

特許権者（出願人）および発明者（開発担当者）、各々との当社の権利関係

※応募者と異なる場合はその権利関係も明記してください。

関係・利用する他社特許（権利者、No.等）

（例）△△社　「○○製造法について」（特許番号 9999999）　特許実施許諾契約締結済

※他の権利等の侵害及び権利関係に係争がある場合(過去に解決済みの場合を含む)は、必ずその旨を記載してください。

開発費（人件費含む）	万円　※金額単位は、万円です。ご注意ください。		
開発参加人員	人	**開発期間**	年　カ月

写真とその説明（技術・製品の特徴がわかる写真を重ならないように 1～2 枚貼付）

○応募作品（新技術、新製品）の特徴がわかる写真を、重ならないように 1～2 枚貼り付けて下さい。

添付資料	**産学官連携**に該当ある場合はその契約書・覚書等の写し、**環境貢献**に該当ある場合はデータ・資料を添付して下さい。 **※応募書類および添付資料は返却いたしません。**